

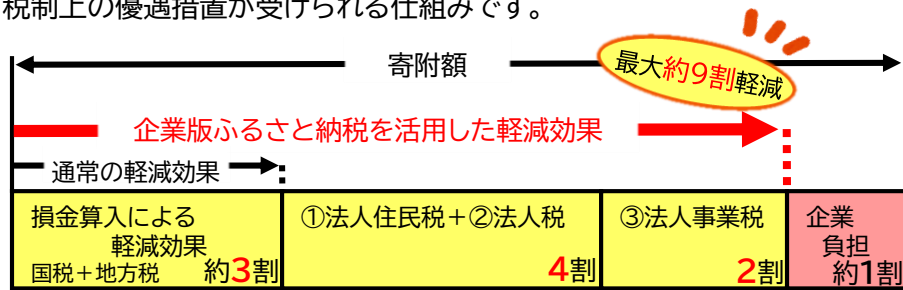
ご縁で拓く
すずかの未来



鈴鹿市企業版ふるさと納税のご案内

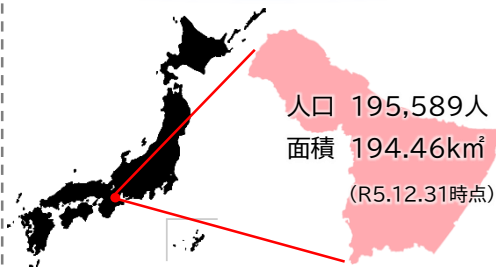
企業版ふるさと納税とは？

地方公共団体が行う地方創生の取組に対して企業が寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。



- ①法人住民税・・・寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)
 - ②法人税・・・法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
 - ③法人事業税・・・寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)
- ※税額控除の手続(申告)や算出に関しては税理士や所管する税務署へご相談ください。

鈴鹿市ってどんなところ？



人口 195,589人
面積 194.46km²
(R5.12.31時点)

鈴鹿市は日本のほぼ中央に位置し、海や山などの豊かな自然に恵まれています。また、自動車レースの最高峰「F1」が開催されるモータースポーツのまちとして全国的に知られています。

企業のメリットは盛りだくさん

地域貢献による
企業のイメージアップ

SDGsの推進

鈴鹿市との新たな
パートナーシップ構築

市公式HPなどで
企業PR

留意事項

- ・1回当たり**10万円以上**の寄附が対象となります。
 - ・寄附を行うことの代償として**経済的な利益**を受けることは**禁止**されています。
 - ・**鈴鹿市外**に本社※が所在する企業が**対象**です。
- ※この場合の本社とは、地方税法における「主たる事務所又は事業所」を指します。

鈴鹿市マスコットキャラクター
『ベルディ』



©TEZUKA PRODUCTIONS

ご支援いただきたい地方創生の取組

子どもが輝き 人と文化を育むまち事業

『さあ、きつともっと鈴鹿。』で子育て 「すずっこまんなかプロジェクト！」

本市の未来を担う子どもたちの健やかな育ちを確保するため、子どもや保護者の声に耳を傾け、その声を「まんなか」に、市のアクションにつなげる取組を実施します。

子育て世帯が相談できる場所や地域と関わる機会を確保し、地域社会全体で子育てを支える仕組みづくりや、妊娠・出産・子育てにおける途切れのない支援を強化します。



◀関連するSDGsのゴール▶



◀目標額▶

280万円程度

健やかに いきいきと暮らせるまち事業

障がい者の社会参加応援プロジェクト (音声化のための環境整備事業)

視覚障がい者の自立と社会参加を促す取組として、音訳ボランティアグループの協力により、市が発信する情報などを音声化した「声の広報すずか」を配布しています。

音声化の取組が、継続的かつ効率的なものとなるよう、録音環境の整備を行います。



◀関連するSDGsのゴール▶



◀目標額▶

220万円程度

自然と調和し 快適な都市環境を 未来へつなぐまち事業

～「ろすのん」の笑顔が伝える
ご飯の大切さ～
子どもの食ロス削減事業

カーボンニュートラル社会の実現や循環型社会を構築するために、次年度から小学生になる5歳の児童と、その保護者を対象に、「食品ロスの削減」を実践できる事業を実施します。

対象児童が朝食・夕食を残さず食べ、食品ロスが発生しなかったら「ろすのん」シールを貼ります。

30枚貼ることができたら、市内企業で製作する特製スプーンを贈呈します。



「ろすのん」
食品ロス削減国民運動のキャラクター

《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

200万円程度

持続可能な産業の発展と にぎわいや交流が 生まれるまち事業

雇用促進プロジェクト

地域産業における人材不足の解消と人材の定着を図るため、市内企業の魅力を発信し、多様な人材の確保に取り組みます。

【寄附活用例】

- ・就職希望者を対象とした企業見学バスツアーの実施
- ・求人情報パンフレットの作成



《関連するSDGsのゴール》



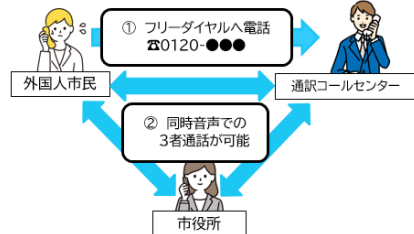
《目標額》

120万円程度

みんなで支える 自分らしく生きるまち事業

～誰一人取り残さない、災害対応の実現に向けて～
災害時多言語コールセンターの導入

多文化共生社会の更なる推進に向け、今後発生が予想される南海トラフ地震や気象災害などの有事の際に、外国人市民の多種多様なニーズに応えられるよう、災害時多言語コールセンターを導入し、市内各所、各窓口で「言葉の壁」を解消した母語での行政対応を実施します。



《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

13万円程度

Ecoステーション

～処理困難物一斉収集の日～

ごみの適正処理を推進することを目的に、不法投棄対策の一環として、通常、市のごみ処理施設で受入れを行っていない、「自動車用タイヤ」「消火器」「エンジンオイル」「プロパンガスボンベ」などを無償で回収するEcoステーションを実施します。



《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

800万円程度

ものづくり企業活性化 プロジェクト

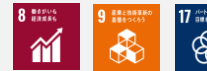
県内有数の工業都市としての発展を支えてきた「ものづくり企業」の自立的発展を支え、産業の基盤強化に取り組みます。

【寄附活用例】

- ・人材育成の強化
中小製造企業の新入社員等に、「共通の仲間づくり」ができる場を提供し、若年層の定着を図ります。



《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

40万円程度

すずか未来デザインLABO

若者が住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを進めるため、本市に関わる若者と鈴鹿市の未来を描き、より良いまちにするためのアイデアを市職員と共創します。新たな発想から生まれたアイデアを市の政策の参考にするとともに、若者世代の学びの場や交流の機会を創出し、人材育成や地域への定住、UJターンを促します。



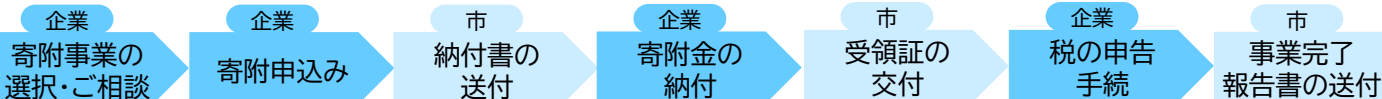
《関連するSDGsのゴール》



《目標額》

120万円程度

ご寄附の流れ



お問い合わせ

《寄附の申し出に関すること》

財政課 ☎ 059-382-9041

✉ zaisei@city.suzuka.lg.jp

《制度に関すること》

総合政策課 ☎ 059-382-9038

✉ sogoseisaku@city.suzuka.lg.jp

※ご寄附をお申し出いただく時期によっては、実施が難しい場合がございます。ご希望の取組がありましたら、まずはお気軽にご相談ください。



鈴鹿市HP



SUZUKA CITY

©TEZUKA PRODUCTIONS

鈴鹿市 政策経営部 総合政策課

〒513-8701

三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号

☎059-382-9038

✉sogoseisaku@city.suzuka.lg.jp